

## 宮崎中学校・越前中学校・織田中学校の再編についての地区懇談会 結果概要

- 開催日：令和8年1月27日（火）～29日（木）
- 場 所：宮崎・越前・織田コミュニティセンター
- 参加者：宮崎地区 21名 越前地区 6名 織田地区 10名
- 内 容：中学校再編に係る基本方針の策定に向けての意見交換

### 主な意見と回答（宮崎地区）

（参加者）陶の谷地区に住んでいる場合、朝日中学校に通うことは可能か。

⇒（教委）現時点では指定区域の変更は考えていない。朝日中学校は1学年80名程度おり、そこに数名で合流することに生徒が不安を抱かないかの懸念がある。いずれにせよ、今後の検討材料とさせていただきます。

（参加者）中学校再編ありきで説明しているのではないか。

⇒（教委）一方的にこちらの考えを押し付けているつもりは決していないが、実際にそういうふうを感じておられるのは事実であり、申し訳なく思う。結論を申し上げる場ではなく、現状の中学校について地域住民の皆さまと共有し、その上でどのような選択肢や考えが生まれるのかをお聞きしたいと考えている。

（参加者）宮崎地区から小学校と中学校どちらもなくなると噂で聞いた。

⇒（教委）今現段階でそういった話は全く上がっていない。

（参加者）中学校を町内に2つではなく、1つにするという選択肢はなかったのか。

⇒（教委）教育委員会では、単に人数が多い方がよいとするのではなく、まずはクラス替えができる規模の再編を検討した。検討委員会でも検討を行った結果、クラス替えができる規模になる宮崎中学校・越前中学校・織田中学校を再編した方がよいのではないかと、という提言になっている。

（参加者）伝統と文化という視点が欠落している。また、今再編を行うことで財政状況がひっ迫するのではないのか。シミュレーションも含めて、説明する機会を設けなければならないのではないのか。

⇒（教委）おっしゃる通りで、そういったことを含めて説明する場を設ける必要があると思っている。

（参加者）いつまでに再編の概要が出てくるのか。

⇒（教委）再編の方針は現段階で何も決定していない状況。再編方針を定めた時、資料を含めスケジュールを提示させていただく。

（参加者）HPや広報に意見や結果などの情報をきちんと出してほしい。

⇒（教委）この提言書や検討委員会の結果、資料、会議録はHPに掲載されているので、検討の過程を見ていただければと思う。

(参加者) 朝日中学校のような 200 人規模の学校での、多様な人間関係や行事の実施について、具体的な例やメリットを知りたい。また、朝日中学校と他の学校に比べて異質なものへの対応(いじめなど)に差があるのか、朝日中学校の特徴や規模のイメージを示してほしい。

⇒(教委) 今後このような場があれば示したいと思う。

(参加者) 中学校を再編した際、各地区の特色(宮崎中学校の陶芸部など)が新しい学校にどのように生かされるのか、地域の特色を教育や活動にどう反映させる予定なのかを、説明の中に出してもらえると分かりやすい。

⇒(教委) 各地区の特色は授業や総合的な学習の時間で取り入れ、部活動の在り方についても検討する必要があると考えている。

(参加者) 既存の中学校は避難所としての機能を残す必要があり、耐震化やエアコン設備の改修が求められる。再編後、既存校をどのように活用するのか、避難所以外の利用について知りたい。

⇒(教委) 学校は避難所指定であるため、機能を維持していく必要がある。また、エアコンは普通教室と特別教室に設置している。校舎の跡地についても、地域の方と跡地利活用について検討していく。

(参加者) 再編になる場合、全学年一気に統合するのか。3年生は受験がかかってくるが、そのあたりは考えているのか。

⇒(教委) 再編した小学校では年度初めから全学年、という運びをしているため、中学校もそうなる可能性がある。再編する学校同士で事前に顔合わせをすることで不安のない状況を作っていく。

(参加者) 大人の身勝手ではなく、子供たちの意見を聞きながら再編を進めてほしい。(返答不要)

(参加者) 提言書の「はじめに」に記載されている基本方針(案)作成の際、保護者に説明した内容について、もし今日以上に説明したことがあれば、その内容について教えてほしい。

⇒(教委) 今示すことはできないが、次の機会に準備させていただきたい。

(参加者) 建て替えを含め検討しているとのことだが、現在の中学校の場所はハザードマップなど安全面では大丈夫なのか。

⇒(教委) イエローゾーンには入っているが、日常的に危険な状態にあるわけではない。万が一土砂災害が起きた場合、休校するなどの対応をとることになる。

(参加者) まだ再編について決定していないとのことだが、具体的な時期を早めに知りたい。

⇒(教委) 再編が決定した場合、地区のご意見を伺いながら進めていく形になる。その時は時期や場所について、こういった場を設けて説明していく。

(参加者) この提言書を受けて再編を誰が、どのように、いつまでに決定されるのか、もう少し説明してほしい。

⇒(教委) この提言書は教育委員会が作成したものではなく、有識者や地域の方々が関わって作成されたものである。今後は、この3地区での懇談会でいただいた意見を取りまとめた後、教育委員会が基本方針(案)を提示し、再度説明を行う。基本方針(案)には場所やスケジュールが含まれ、地域の意

見を反映させながら、子どもたちのために最適な方法を選定する作業になる。

(参加者) 出てくる意見によっては、2校だけ再編して1校は残るという可能性もあるのか。

⇒(教委) あくまで可能性の話だが、ありえない話ではない。

(参加者) 越前町に住む若い世代が結婚後、選択肢が少ないために越前市や鯖江市に移住している現状が目立つ。越前町に住んでいる身として、子どもたちにたくさんの選択肢を与えられる、安心して住める町にしてほしい。(返答不要)

(参加者) スケジュールを今ここで決めておいてもらわないと、自分たちは何のためにここに来たのか分からない。

⇒(教委) 別地区での懇談会も控えているため、今ここでというのは難しい。次回はスケジュールを出せるようにしたい。

#### 主な意見と回答(越前地区)

(参加者) 地理的な面においても、織田中学校を利用するのが最適。子どもたちやその保護者の意見を最優先に進めるべきである。自分の経験からしても、3クラス程度で毎年クラス替えをするのが理想だと思う。1日も早く再編をすべきだと思う。

⇒(教委) 今後の参考にさせていただく。

(参加者) スクールバスについて、地区によって異なると思うが、小学校に比べて30分ほど早くなるイメージでよいのか。

⇒(教委) 中学校の登校完了時間である7時50分から8時に間に合うような運行スケジュールになるかと思う。生徒の状況によってルートなどの検討を進めていく。

(参加者) 部活動によっては帰りの時間帯もバラバラになるのではないか。その場合帰りのスクールバスは1本なのか。

⇒(教委) 仮に再編した場合、中学校の部活動は全て同じ時間で終了している。全生徒と一緒に帰る形になる。

(教委) 多くの友人と関わることで社会に通用する力を育成するという意味でも、子どもたちにとってクラス替えは大きなポイントだと思っている。クラス替えが出来ることについて、どんな思いがあるか保護者の方にお聞きしたい。

⇒(保護者) 高校入学前に、中学校で1段階早くクラス替えをする経験があるとよいと思っている。

(参加者) 再編した場合部活動が増えることになるが、活動場所についてはどうなるのか。足りなくなることはないのか。

⇒(教委) 仮に今の織田中学校を使用する場合、テニスコートや中央公園のグラウンドを使用することが出来る。運動部は野球部、卓球部、ホッケー部、バレー部、ソフトテニス部、剣道部が基本になるかと思うので、織田地区であれば活動場所は足りると想定をしている。

## 主な意見と回答（織田地区）

（参加者）他地区で中学校の位置についての意見はあったか。

⇒（教委）織田地区が望ましいという提言書の内容について、意見は特になかった。将来を見据えて1つの学校にしてもよいのではないかと、という意見はいただいた。

（参加者）織田中学校の校舎が望ましいとなっているが、例えば他の中学校で、改築をせず、各学年3学級ずつの生徒を収容することは可能なのか。

⇒（教委）各中学校に空いている教室はあるが、少人数で様々な使い方をやっているため、そのままでは難しいと思う。

（参加者）織田中学校を増築、改修又は新築が考えられると書かれているが、今後を見据えると新築が最適ではないかと思う。ただ、財政面にも課題があると思うため、現段階でそういった面も踏まえたシミュレーションがあればお答えいただきたい。

⇒（教委）新築や改築といったシミュレーションはできていない。白紙の状態。仮に1つの中学校になった場合、単に数を合わせるのではなく、新しい学校として中身もじっくりと考えていかなければならないと思っている。

（参加者）町としては何年後の再編をイメージしているのか。

⇒（教委）まだ再編するか、しないか、という段階であるためお答えできない。

（参加者）再編をするかしないかがいつ決まるのかも、まだ分からないのか。

⇒（教委）このような懇談会でいただいた意見をもとに基本方針（案）を作成することになる。その中で、再編するかしないのかを選択していく形になる。

（参加者）懇談会で意見を聞くのは分かるが、他の地区の参加人数はどれくらいなのか。町民の意見をしっかり聞くことは大切だが、個人的にはもっと迅速に進めていくべきだと感じている。

（教委）町としては、この提言書の重みを十分に認識しているが、保護者の方や地域の方の意見を伺うことなしに、行政が最終決定を下すべきではないと考えている。

（参加者）例えば陶の谷地区ならば、朝日中学校の方が近いように思う。その場合朝日中学校に通うことは可能なのか。

⇒（教委）宮崎地区で同様の質問があった。「今の段階で可能かどうか答えることはできないが、そういう声があることを以前から聞いているので、しっかり検討していきたい。」と答えさせていただいた。

（参加者）遠くの地区の生徒が授業終了後や、部活動終了後のバスのイメージはどういったものなのか。

⇒（教委）現在の中学校のことをお話しさせていただくと、部活動がある曜日は、すべての生徒が部活動をおこなっているため、同じ時間に帰る。帰る方向にもよるが、基本的には各地区一便体制で帰ることを想定している。

（参加者）仮に再編となって生徒数が増えた場合、教員はどのように配置されるのか。

⇒（教委）学校の教員数は、学級数に応じて決定している。この再編を検討しなければいけない理由の

一つに、中学生の学びがある。中学生はより専門的な学習をしていくため、専門性の高い教員を配置しなければならない。そういったことも踏まえて、再編をすることに至った。

(参加者) 現生徒に再編についてどう思うか聞くのはどうか。子どもたちにとっても、越前町を考えるよいきっかけになると思う。

⇒ (教委) 大変良いアイデアだと思うので、今後の参考にさせていただく。

(参加者) 今回の懇談会は小学生の保護者にも案内しているのか。

⇒ (教委) している。小中学生の保護者のみなさまに Home&School で配信しているほか、地区のみなさまにもチラシを配布してご案内している。